

取り扱い説明書

DAYTONA®

*取り付け前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

R96261～96270①/②

*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

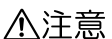
インナーサイレンサー (グラスウール消音タイプ)	適応車種	商品 NO.
	ユニバーサルタイプ	96261～96270

■ ご使用前に必ず、ご確認ください ■

この度はデイトナ「インナーサイレンサー」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

	警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
	注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

	実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
	高温注意	表記の注意を告げるものです。		その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

警告

	禁止	マフラー高温時にはマフラーに触れないでください。 火傷をしたり衣服を焦がしたりする危険があります。また、高温の時は絶対にガソリンや引火性のあるワックスやクリーナー、塗料などのケミカル製品をマフラー等に垂らしたり吹き付けたりしないでください。火傷やオートバイの損傷、火災の原因となります。
--	----	---

注意

	実施	- 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。 - 作業中、車体が倒れないよう十分注意して作業を行ってください。 - ボルトやナット類は、各サイズに合った所定の締め付けトルクで締め付けてください。 走行中に緩み、部品が脱落する恐れがあります - ボルトやナット類が緩みにくい場合には浸透潤滑油等を使用して、適正な工具で無理の無いように作業を行ってください。 排気関係の部品はボルトやナットが錆びて緩みにくい事があります。無理に緩めようとするボルトが折れる等のトラブルが発生します。 - ボルトやナット類が緩みにくい場合には浸透潤滑油等を使用して、適正な工具で無理の無いように作業を行ってください。 - グラスウールをパイプに巻く際は、直接手で触れずにゴム手袋、防塵マスク、ゴーグルを装着して作業してください。 - 駐停車の際は、必ずエンジンを停止してください。 排気ガスには有毒な成分が含まれています。駐停車中に車両の後ろに人（特に幼児やペット）が居るにも関わらずエンジンをかけ続けると、一酸化炭素中毒等により死亡又は重度の後遺障害の恐れがあります。また、閉め切った倉庫や車庫の中では運転者および同乗者も含め同様の危険が発生する事がありますので、十分な換気をしてください。 - 取り付け後約100km 走行しましたら各部を点検してネジ部等の増し締めを行ってください。その後は約500km 毎に必ず点検を行い、同様の増し締めを行ってください。 定期的な整備を怠った場合や通常以外の使用において、この商品を装着後に部品に錆や破損が発生しても当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。 - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
	高温注意	- エンジンをかけるとマフラーは高温になります。 - 車体全体が十分に冷えるまでは作業を開始しないでください。 火傷をしたり衣服を焦がしたりする危険がありますので、駐停車時も注意してください。 - 高温の時は絶対にガソリンや引火性のあるワックスやクリーナー、塗料などのケミカル製品をマフラー等に付着させたり吹き付けしないでください。 引火して火傷やオートバイの損傷、火災の原因となります。 - 駐停車の際は、車両の下などに燃えやすい物がないかを必ず確認してください。 枯れ草など燃えやすい物の上に駐停車すると火災の原因となる場合があります。

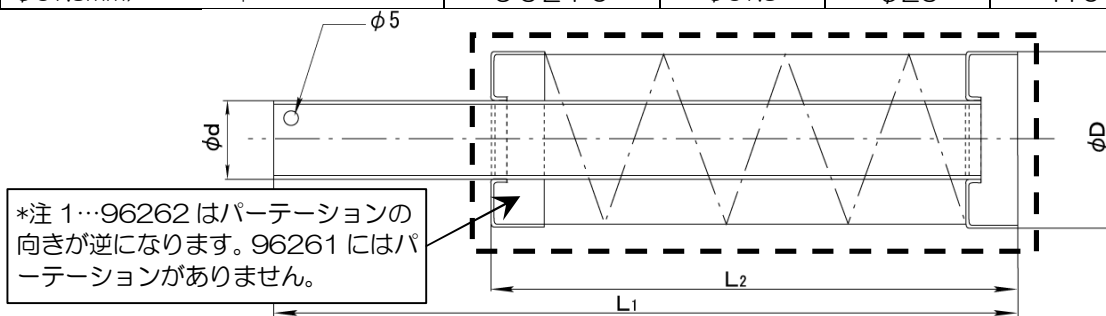


その他

- ・取り付け前に必ず商品の内容や外観をお確かめ下さい。
万一お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。
- ・ご使用になるマフラーによって消音効果は異なります。
- ・グラスウールの巻き加減によって消音効果は異なります。
- ・車検、排ガス規制に合致するものではありません。お客様の自己責任に於いてご使用ください。
- ・この商品は消音効果を目的としたものであり、性能、エンジン出力などに関しましては一切の責任はもちません。
- ・グラスウールは消耗品です。経年変化により消音効果が落ちますので予めご了承ください。
- ・マフラー装着後エンジンをかけると、しばらくはウールが焼けて煙が出る場合があります。
これは異常ではありません。ウールの密度が低い部分が焼けることがあります。予めご了承ください。
- ・セッティングによる車両の異常やトラブル、怪我や事故が発生しても当社では一切の責任を負えません。
- ・当社商品以外との組み合わせによる、予期せぬ不具合が生じても当社は一切の責任を負えません。
- ・ライディングマナーを守り、急加速、急発進、空ぶかしはしないでください。
また、早朝や深夜等も静かな走行を心掛けてください。
- ・この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。

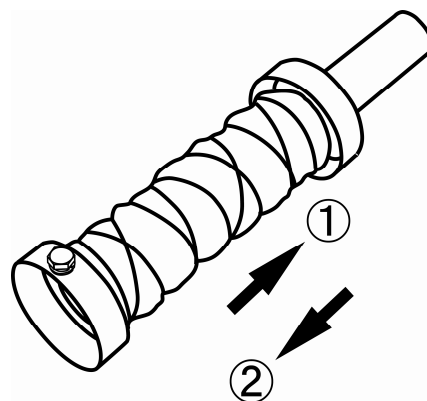
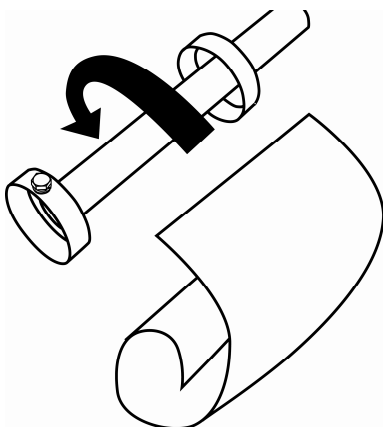
〈商品仕様〉※サイズ表記はすべてミリ(mm)です。

パーツ名	商品番号	D	d	L1	L2
φ41mm/スタンダードタイプ *注1	96261	φ41	φ23	140	—
φ47mm/ *注1	96262	φ47	φ26	—	150
φ52.5mm/ ↑	96263	φ52.5	φ21.5	210	140
φ57.5mm/ ↑	96265	φ57.5	φ26	240	170
φ62.5mm/ ↑	96267	φ62.5	φ26	260	190
φ67.5mm/ ↑	96269	φ67.5	φ26	260	190
φ52.5mm/ショートタイプ	96264	φ52.5	φ21.5	170	100
φ57.5mm/ ↑	96266	φ57.5	φ26	170	100
φ62.5mm/ ↑	96268	φ62.5	φ26	170	100
φ67.5mm/ ↑	96270	φ67.5	φ26	170	100



【グラスウールの巻き方】

1. サイレンサパイプにグラスウールをしっかりと巻きつけます。(グラスウールはクロス面を内側にして切らずにそのまますべてを巻きつけます。毛羽立った方が外側になります。飛散防止用クロス側が必ず内側になるように巻きつけます。)
2. 付属のワイヤーを使用してグラスウールを固定します。
まず①の方向に巻いていき、②の方向へ戻ってきます。
戻りきったところでワイヤーの初めと終わりでツイストして固定します。



東証JASDAQ上場 株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周知郡森町一宮 4805

URL: <http://www.daytona.co.jp>

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで